

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
東日本大震災から2ヶ月経ちましたが、依然として余震と原発事故の処理で予断を許さない状況です。被災地の方々が少しでも早く穏やかな日常を取り戻せるよう、また、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
さて、5月も中旬となり、青梅の出荷もいよいよ間近にせまってきました。今回は和歌山と群馬の直近の状況についてご報告申し上げます。また、冰糖出荷につきましては、青梅の出回りに合わせ万全の準備を致しておりますが、ご注文の集中が予想されるため、お早めの指図をお願い申し上げます。

梅の状況

和歌山県 2011年5月6日撮影

◆和歌山県

結実後の気候は、日照、降雨とも順調に推移しており、当初より遅れていた生育進捗も徐々に取り戻しつつあります。5月6日現在の果実の肥大状況は2~3cmで、前年と比べ一週間程度遅れています。受粉期が好天であった平野部では実付が良好ですが、山間部では園地により受粉ムラによるバラツキがみられます。また例年なら既に終了している第二次生理落下の途中段階で、今後もう少し落果が進むと思われる。

4月25日の着果調査では平年並みで、不作であった昨年を大きく上回っています。JAでは現時点での予想収穫量を、南高が前年比127%、古城が124%、小梅が167%、全体で128%と見込んでいます。出荷時期は生育が遅れているため、昨年より一週間遅れの5月末に始まりますが、量的にはやや少なめのスタートになります。6月10日頃には大量に出回り、価格もお手頃になると考えられます。また、今年は低温被害、害虫被害はほとんど無く、高品質の割合が多くなりそうです。



◆群馬県

生育は例年より数日遅く、5月10日現在2cm前後の実を付けています。まだ生理落下は終了していませんが、全体的に実付がよく、園によっては鈴生りの状態です。開花期間が例年より長く、天候も安定していたため、受粉環境が良好であったようです。GW前後の着果調査では、昨年より2割以上多くなっています。例年よく発生するヒョウの被害は今のところありませんが、もしばらくは心配されます。

出荷時期は小梅が5月18日、主力の白加賀が6月1日から始まる予定です。



群馬県 2011年5月10日撮影

長期陳列のお願い

和歌山南高のピークは6月中旬で、末までは収穫されます。また地場の梅は遅く、例えば中部地区では6月中旬過ぎが収穫時期になります。一部量販店では6月中旬に梅コーナーを引き揚げられることがありますが、販売チャンスをロスしないよう長期陳列のアドバイスをお願いします。

コンテナ出荷リードタイムのお願い

昨今、環境に対する意識の高まりと、原油価格高騰により大口配送がトラック輸送からコンテナ輸送に移行し、コンテナ不足及び鉄道輸送量過多の状況です。よって従来通りのリードタイムでは配送が困難な状況であります。つきましては、コンテナ出荷において余裕を持ったご注文を頂きますようお願い申し上げます。

販促

◆梅シロップ教室、マネキン試飲

5/25~6/20 全国各地の量販店で実施

◆全日本冰糖工業組合PR

テレビパブリシティ・毎日新聞、webによる梅シロップ広告・講習会

ホームページ/弊社南濃梅園のご案内

【パソコン用】 <http://www.nakahyo.co.jp/>

【携帯用】 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

南濃梅園 2011年5月12日撮影

